

St. Mary's College News

By Love Serve

編集
名古屋柳城短期大学
学生生活委員会

〒 466-0034
名古屋市昭和区明月町 2-54
電話 052-841-2635

URL : <http://www.ryujo.ac.jp>



保育科 鈴木菜々美

柳城で過ごした 2 年間は、毎日が充実していてあっという間に過ぎたように感じます。山ほど出される課題や厳しいレッスンのピアノなどに追われる日々で辛いことも沢山ありました。しかし、同じ保育者になるという夢をもつ仲間たちがいたからこそ辛いことも乗り越えることができたと思います。



クラス全員で取り組んだ柳城祭では、模擬店も後夜祭でのクラス発表も成功し、このクラスで良かったと心の底から実感することができました。

4 月から 2 年間で得たことを生かし、子どもたちからも保護者の方からも信頼される保育者を目指して頑張ります。(私立幼稚園内定)

保育科 山崎 百華

今思うとあっという間だった短大生活、辛いこともありましたが、子どもが心から好きだと改めて気づき、保育の仕事にいう魅力を感じる事ができました。

この 2 年間を楽しく充実して過ごせたのは、励まし合い、笑い合える仲間が存在があったからです。また、実習や就職の不安や悩みを親身になって聴いてくれた先生方にも感謝しています。特別な用事がなくても研究室に立ち寄って大笑いした時間は、わたしの学生生活を支えてくれました。

大好きな友達や先生と離れるのはすごく寂しいのですが、柳城での学びと友達存在を力にして、4 月からは新たな場所で笑顔を忘れず、保育士として活躍したいと思います。(公立保育士内定)



保育科 加藤あずみ

短大での 2 年間、毎日の学びは大変興味深く、多くの刺激を受けました。

憧れにより保育者を目指し入学したあの日から、たくさんの出会いと経験、学びを得ました。保育の奥深さを知り、様々な要素が絡み合っている日々の保育がなされることを講義や実習を通して学びました。

専攻科へ進学後も、自身が子どものために何が出来るかを追求し続け、様々なことに挑戦をし、さらに成長していきたいです。(本学専攻科保育専攻進学)



専攻科保育専攻 浅田 真以

柳城の専攻科での 2 年間は、人数が 5 人と少ないこ



ともあり和気あいあいと楽しく過ごすことができました。なにををするにしても 5 人だったので、いつしか相談をしなくても役割分担ができるようなチームになっていました。4 月からは、それぞれ違うところで働くこととなりますが、仲間とのやり取りを大切にしながら、目の前の子どもやその保護者を笑顔にできるよう努めていけたらと思います。本科での 2 年も含め 4 年間お世話になり、本当にありがとうございました。

(社会福祉施設内定)



専攻科介護福祉専攻 新海拓馬・越野凌平

介護福祉専攻を卒業して具体的な介護の技術や知識を身に付けることができました。

生活支援技術では、例えば、介護者の負担にならないよう科学的根拠に基づいたボディメカニクスといった技術を親身になって教えて下さりました。また、施設見学も取り入れて下さり、授業で学習した知識と実際の現場を比べることができました。心の中にあった自分の理想の介護や想いも、この介護福祉専攻で自覚することができました。

毎日が濃厚な時間で、あっという間に 1 年が過ぎました。1 年前と比べて自分の成長を大きく感じることでできた介護福祉専攻での学びは一生涯忘れません。

(社会福祉施設内定・公立保育士内定)



柳城祭実行委員長 谷本 美空
中島 碧里
三宅 由華

今年の柳城祭のテーマは、"Sunflower" でした。光り輝く未来へ、ひまわりのように強く咲き誇れ！という意味が込められており、柳城生一人ひとりが一生懸命に準備してきたことで大成功を収めることができました。



柳城祭実行委員会では、新しい企画を提案して前期から準備に取り掛かることで「学生が作り上げる柳城祭」という形で締めくくることができた

と思います。今回柳城祭実行委員長をやらせて頂き、柳城祭はたくさんの方々のお支えで成り立っているのだと実感しました。訪れる方々に笑顔で楽しんで頂けるような柳城祭を、これからも作りあげていって欲しいです。



柳城祭 2017.11.2 ~ 3 "Sunflower"



手づくりキッズ 紙芝居コンクール表彰式

犬飼 友紀

穏やかな秋晴れの中、第11回手づくりキッズ紙芝居コンクールの表彰式が行われました。作品から溢れてくる子どもたちのユニークな発想に感心し、非常に刺激を受けました。

紙芝居を通して、子どもたちの思い描く夢や希望を垣間見ることができ、保育を学んでいるわたしたちにとって、勉強になることがたくさんありました。このコンクールは、子どもたちの純粋で豊かな感性に触れる貴重な機会だと思いました。



篠田 葵

今年は「らーめん屋さん」「巨大迷路」「大型絵本劇」「顔出しパネル」「手作りアニメ」「ブラックライトシアター」「わなげと魚つり」を行いました。私のチームはアニメーション制作で、始めは実現できるのかと不安にもなりました。



**造形表現
セクション**

授業を通してどのように進めていくのか見通しを立て、みんなで話し合うことにより連携が取れて、当日は素晴らしいフェスタとなりました。造形表現は、来て下さった子どもたちと直接関わることができて、みんなが喜んで遊んでくれたことに感動しました。今回学んだことを無駄なく次に生かしていきたいです。



**こどもフェスタ
りゅうじょう**

2017
11.3



海原佳奈恵

私たち音楽表現セクションでは、合唱パフォーマンスを行いました。全6曲もの三部合唱曲を暗譜し、さらに振りをつけてパフォーマンスしました。子どもから大人まで不安や悩みを抱えた昨日や今日も、前向きに明日に進んでいこうという大きな全体的なテーマの下、取り組みました。



違うクラスで初めて関わる子と同じパートになり、練習する中でそれぞれ色々な思いがあったと思います。恥ずかしいと思っていた振り付けも子どもたちを目の前にするとやはり全員の目が輝いて、学生ではなく将来の保育者としての姿が見られました。70人で1つの作品を作ることは難しいですが、70人それぞれの思いをもって1つの作品を発表する楽しさ程気持ちのよいものは、これから先きっと出来ない貴重な経験になりました。

**音楽表現
セクション**

大井悠以奈



私たち身体表現セクションでは、「しりとりのだいすきなおうさま」と「しろおうさまとくろおうさま」の2つの劇、オープニング、クイズ、ダンスの発表を行いました。

身体表現の授業内では準備が間に合わず、授業外にも活動することが多くとても忙しい毎日でした。たくさん話し合いをする中、時に揉めてしまうこともありましたが、それがあったからこそ素敵な作品が出来上がったと思っています。

当日は、たくさん子どもたちが喜んで見に来てくれて、一生懸命に作った衣装を「すごい!」と誉めてくださる声も聞こえてきて、本当に頑張ってたかったと思いました。

**身体表現
セクション**

クリスマス礼拝

2017.12.20



稲葉 詩歩

クリスマス礼拝は、ロウソクが灯された美しい空間の中行われます。キリスト教保育履修者のページェントではもちろん、全学年でも聖歌を歌うので、綺麗な歌声と笑顔が溢れる気持ちの落ち着く温かい時間となります。

今回のクリスマス礼拝では歌に合わせた手話の発表があり、来年度、介護福祉専攻に進学する学生として参加しました。練習は限られた短い時間でしたが、先輩方が丁寧に教えて下さり、手話の意味を理解した上で表現出来るようになりました。当日は発表側の思いが見ている人達に伝わったことが実感でき、非常に貴重な体験となりました。



■ 全国保育士養成協議会会長表彰 ■

保育科 篠田 葵
(社会福祉施設内定)



人生には可能性がたくさんあります。私は当初、保育所に勤めたいと本学に入学し、勉学に励んでいました。しかし、施設実習で思いがけない子供達との出会いがありました。施設は生活の場であり、そのため子供達の顔も色々な表情が見え隠れします。その中で、私もいつもより素直に子供達と接することが出来、進路変更を決めました。苦労は多くありましたが、時には先生や友達に支えられ努力した結果名古屋市の児童福祉施設に就職が決まりました。様々な可能性を教えて頂いた方達に今後は私が恩を返せるよう仕事に励んでいきたいと考えています。

■ 日本介護福祉士養成施設協会会長表彰 ■

専攻科介護福祉専攻 金子 恵里花
(社会福祉協議会内定)



私が名古屋柳城短期大学に進学を決めた要因は、保育も介護も学べるという点でした。元々、人と関わることが好きで、両方の資格をとった上でどちらに就職しようか決めようと思っていました。しかし、介護福祉専攻での学習を通して、介護と保育の専門性を活かし、両方を仕事として関わる事が出来ると知りました。そして、保育と介護を学ぶことで、互いの魅力を今まで以上に知ることが出来ました。先生方に地域福祉を柱に介護施設と保育施設を持っている社会福祉協議会があることを教えていただき、希望通りに就職することが出来ました。改めて先生方やクラスメイト、支えてくださった皆さんに感謝します。



✿ 新生病院リトリート2017 ✿
2017.8.21 ~ 23

保育科 佐藤愛結美

学生10名は教員4名の引率のもと長野の小布施町でボランティア活動を行いました。3日間を通して様々な活動を行いましたが、なかでも印象に残っているのはミニコンサートです。入院患者さんが一緒に歌ってくれたことや涙を流して喜んでくれたことは、いつ思い出しても心が温かくなります。活動以外でも人との繋がりや奥深さやその温かみなどをたくさん感じる場面がたくさんありました。保育者になった時にはこのボランティアで感じたものを子どもたちにも感じてもらえる保育をしていきたいと思っています。3日間ありがとうございました。



✿ りゅうじょうすくすく広場 ✿

教員 山本 聡子

今年度よりキッズルームでの子育て支援広場「りゅうじょうすくすく広場」が始まりました。本学卒業生の有資格スタッフによる週3回のすくすく広場は、明るく清潔な室内、発達に合わせた上質な玩具が好評で、「子どもが一番好きな遊び場です」という言葉もいただくほど。保育専攻生によるあかちゃんクラブや保育科ゼミ単位での講座も多くの方にご参加いただき、学生にとっても「保護者と直接関われる」貴重な機会となっています。今年の実績を基盤に、地元の方々にも、学生にも「行くところ楽しい」場所にしていきたいと思っています。



✿ 柳城カフェ「寄りあい」 ✿
(認知症カフェ)

教員 芝田 郁子

介護福祉専攻では柳城カフェ「寄りあい」(認知症カフェ)を年4回開催しています。認知症カフェは当事者や家族、地域の人々が安心できる居場所であり、認知症について気軽に相談したり、情報交換ができる場所です。本学介護福祉専攻が開催している柳城カフェ「寄りあい」は、認知症当事者、家族、関心ある方々に声をかけ、学生との交流を通してほっとするひと時を過ごしていただいています。企画・運営は学生が行い、平成29年度は音楽交流がテーマでした。合唱、合奏、音楽ゲーム、サインダンス(手で歌う)等々を楽しみました。

保育専攻修了論文発表会

2018.1.30

保育専攻2年生の学生5名の修了論文発表会が1月30日(火)に行われました。多くの先生が発表に出席していただき、保育専攻の2年間で学んだ学修成果を発表しました。



名古屋柳城短期大学 特別給付奨学金

2年次奨励奨学生

特別活動奨励奨学生

平成29年度2年次奨励奨学生が11名認定され、11月1日創立記念礼拝において表彰されました。

平成29年度特別活動奨励奨学生が10名認定され、1月10日の合同礼拝にて表彰されました。

- 木戸 稚菜
- 山崎 百華
- 松永 真奈
- 岩付有美子
- 市川満理奈
- 香川 奈穂
- 林 桜子
- 木戸上綾花
- 澁谷 彩似
- 西村 有加
- 寺田 香穂

- 鈴木 有咲
- 成田美美恵
- 木村 マリ
- 佐藤愛結美
- 浅田 真衣
- 木野祐里奈
- 伊藤 理花
- 小林 夕華
- 谷本 美空
- 新海 拓馬

課外活動団体表彰

学生生活の充実に寄与した団体などを表彰する課外活動団体表彰が1月10日に執り行われ、3団体が表彰されました。

- ・名古屋柳城短期大学学生会
- ・柳城祭実行委員会
- ・園芸サークル・マーガレット